11月12日(木)～25日(水)「女性に対する暴力をなくす運動」期間

配偶者やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシャルハラスメント・ストーカーなどの行為は、女性の人権を著しく侵害するものです。暴力はいかなる理由があろうとも許されるものではありません。

令和6年4月1日には、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援新法)が施行されました。

◆DV・女性相談(市民相談室・☎52-6240(土・日曜、祝日を除く9時～16時30分))

女性が抱えるさまざまな問題について、ひとりで悩まず窓口や電話で相談してください。

◆パープルライトアップ

女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなみ、「パープル・ライトアップ」を実施します。

全国の活動や、詳細はQRコードよりご確認ください。

日時=11月16日(月)日没～19時30分(小雨決行)

場所=DMG MORI やまと郡山城ホール 線路沿い壁面



問 人権施策推進課(内線247・332)



市長てくてく城下町249

和を以て、大和をなす

大和郡山市長 上田 清

初代城主筒井順慶によってどこまで整備されていたかよくわからないそうですが、大和・紀伊・和泉百万石の「大大名」となった大和大納言秀長により急ピッチで進められる郡山城の建設。

そして、さかさ地蔵?に手を合わせる秀長さん。

大河ドラマ『豊臣兄弟!』が〝大和郡山編〟を迎え、市内のあちこちで話題になっています。

寺社との対立や検地の実施、職種別に商人を集めようという、箱本十三町につながるアイデアに続いて、城下町の商売を元気にしようと選ばれたのが「筆」でした。

もっとも、実際はどうだったのでしょうか。

以前、城下町にあった筆作りの工房も、今は姿を消していますので、少し残念ではありますが。

とはいえ、全体としてはとてもいい雰囲気で、本市のイメージアップにつながったのではないかと、受けとめているところです。

極めつけは秀長さんが最後に示した書で、そこには「和」という字が堂々と書かれていました。

「和を以て、大和をなす」。

それこそ「秀長が残した輪は今もここにある」の「輪」と相通じる部分もあるかと思いますが、「和」には大和大納言としての秀長さんのすべてが詰まっているのではないでしょうか。

まさに「和の国」の誕生です。

ところで、秀長さんが奈良市の五条山丘陵一帯で採れる良質の陶土「赤土」に目をつけ、尾張の陶工与九郎につくらせた「赤膚焼」は、表面に描かれた「奈良絵」とともに評判となり、秀長さんの家臣だった小堀正次の子息、小堀遠州によって広められ、現在に至っています。

一方、戦国武将がよく着用したという藍染めの衣服は、深く染めあげた濃紺色が「褐色」と呼ばれ、「勝ち」に通じるということに加えて、藍には解毒や炎症を抑える効果があることも、武将たちが愛用した背景にあったといわれます。

まさに「サムライブルー」のルーツです。

紺屋町も賑わったことでしょう。

赤膚焼や藍染めなどについても取り上げていただければ嬉しいのですが。

(令和8年9月末) 人口 81,240人 (−49) 男 38,419人 (−27) 女 42,821人 (−22) 世帯数 40,043世帯 (+10)

(9月)特殊詐欺発生件数・被害額 31件(337,360,338円)・県:456件(5,324,480,717円)、救急出動 503件、消防出動 3件

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

発行/大和郡山市 ☎0743-53-1151
編集/企画政策課 広報係 大和郡山市役所
FAX 0743-53-1049 発行月/令和8年11月
〒639-1198 奈良県大和郡山市北郡山町248-4